



筑波大学メールマガジン

ペデじゃーなる 2020 年 - 春号 -

OG・OB と学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を
季節の便りとしてお届けしていきます。



INDEX

1. 『つくばに新種のラーメン登場！』／山野実菜
おしゃれなラーメン屋さん
2. 『おうちトレーニング』／牧田宗大
筑波大運動部のメニューに挑戦
3. 『「オンライン新歓祭」開催』／森賀遼太
新入生に大学生活の楽しさを
4. 『ステイホーム！』／吉永真理
大学院生の自粛期間の過ごし方
5. 『筑波大学新聞のススメ』／木村誠
自宅で筑波大学に帰ってみませんか

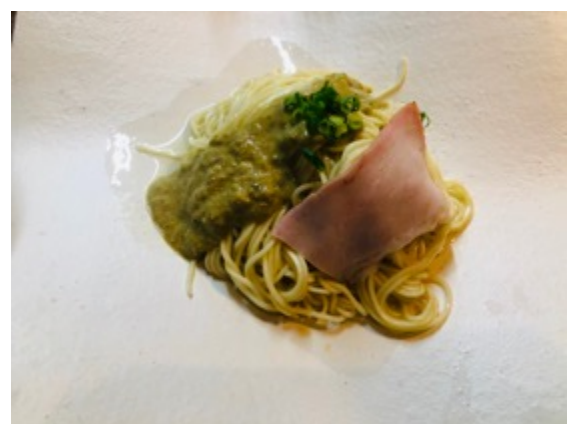


1 つくばに新種のラーメン登場！



本日は、天久保2丁目、カレーうどん屋 ZEYO.の隣にできた新しいラーメン屋さんについてご紹介したいと思います。その名も「芽堂寺」。少し難しい字ですがこれで「いどうじ」と読みます。名前の由来は、店主さんの伊堂寺という苗字に、花が咲き始める頃という意味がある「芽」という漢字を組み合わせたモノだそうです。まだまだ未熟な事や、これから先初心を忘れないようにという想いを込めて名前を決めたとおっしゃっていました。

実際にお店に行ってきました。ここは鶏白湯メインのラーメン屋さんだそうです。通常メニューの「深み鶏」「濃香つけ蕎麦」に加え、日によって違う限定メニューがあります。また、替玉が特徴的で、残ったラーメンの汁に入れるのではなく、そのままいただくことのできるメニューになっていました。私が注文したのは限定の「濃厚ジェノベーゼ」(写真上)というものと替玉限定の「牡蠣のソース」(写真下)です。ラーメンとは思えないくらいとてもおしゃれなお皿に盛り付けられていました。気になるお味は、その名の通りとても濃厚で、鶏肉と豚肉の2種類のお肉やメンマも全てが味わい深く繊細でした。替玉はパスタのようにソースと麺を混ぜていただきました。お腹がいっぱいでもスルスル入ってしまう飽きないお味で、とても満足することができました。



近頃は自粛要請等の関係で、営業時間を縮小しテイクアウトも受け付けながら営業してくださっています。テイクアウトではラーメン各種に加え、「ロース丼」、テイクアウト限定の「ピリ辛肉丼」のメニューがあります。

自粛中の食事の楽しみに、自粛期間が明けた後の景気付けに、この

おしゃれなラーメン屋さんを訪れてみてはいかがでしょうか。

詳しい営業時間やその日の限定メニューは Twitter にて更新されていますので、是非そちらをご覧ください。

Twitter : @idouji_

(人文・文化学群 比較文化学類 4 年 山野実菜)

🌸 2 おうちトレーニング



新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催が1年延期になりました。筑波大からも選手、関係者、観客として多くの人が心待ちにしていたスポーツの祭典が見られなくなったのは残念です。

また、大学スポーツの大会も中止が相次いでいます。そんな中、筑波大の各運動部が YouTube や Twitter、Instagram など様々な企画を打ち出しています。

今回はステイホームにぴったりのトレーニング方法を紹介している部活動があるので、挑戦してみました。

最初は蹴球部フィットネス班が紹介している7つのメニューに挑戦！肩から胸部、腹部、背中、股関節とバリエーション豊かなメニューがあり、それぞれ特別な機材を必要とせず、気軽に取り組むことができました。



男子ハンドボール部は YouTube に「ファンクショナルトレーニング」という身体機能を高めるトレーニング動画を2つアップロードしています。今回は1つ目のトレーニングをしてみました。各30秒ずつ、10種のトレーニングがあり、間に30秒の休憩をはさんで計

10 分間のメニューですが、2 つ目の「腕立て歩行」から早くも息が切れてしまい、10 分後にはほとんど動けなくなっていました。本来は2セットするものとのことで、次は1セット目で力尽きないように頑張りたいです。



硬式野球部も数種類のトレーニングを Twitter 上で紹介していて、うち体幹トレーニングに取り組んでみました。正しいトレーニング方法の後に間違った姿勢や、良くないやり方を紹介してくれるので、気を付ける部分がわかりやすかったです。



他にも、食レポ動画に挑戦した男子バスケットボール部や、料理選手権を開いているラグビー部、おうちでできる体操を紹介している体操部など、色々な部活動が工夫を凝らしています。是非各部のアカウントを覗いてみてはいかがでしょうか。
オリンピック発祥の地、古代ギリシアでも疫病が大流行しました。はしかとも天然痘とも言われるこの疫病、現代ではどちらもワクチンが開発されています。今回もきっと、感染症を克服し、スポーツを楽

しむ日常が戻ってくると信じています。

Twitter: @Tukuba_shukyu (筑波大学蹴球部(サッカー部) | 一心),
@ tsukubahandball (筑波大学男子ハンドボール部), @
TsukubaBaseball (筑波大学硬式野球部)

(社会・国際学群 社会学類4年 牧田宗大)

3 「オンライン新歓祭」開催



大学で春の風物詩といえば「新歓」です。各サークル・部の上級生が新入生に向けて、活動をアピールしようとビラ配りや学内ライブ、食事会などのイベントが目白押しになります。新入生だった時、両手がふさがるほどの新歓ビラを上級生から渡され、夜にはサークルの食事会で連日おごってもらったといった経験をされた方も多いはず。新歓を通して新入生は同級生や上級生と交流を深め、大学生活の始まりに心をときめかせるのです。

今年の春もそのはずでした。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大で、筑波大では入学式は中止、授業も4月27日からオンラインでの開始となりました。学生は原則、大学構内に立ち入ることができず、サークル活動も全面的に自粛となりました(5月26日現在)。当然、大勢の人が集まるような新歓イベントは軒並み中止を余儀なくされています。

このような状況でも、新入生が上級生と気軽にコミュニケーションをとれるようにしたい、大学生活の楽しさを伝えたい——。筑波大生の有志がYouTubeとオンライン会議システムを使った「オンライン新歓祭」を企画、開催しました。今回はそうしたコロナ時代の新歓祭取材しました。

四月二十四、五、六日

使徒COVID-19の襲来
筑波大生が裏で動き出す…

参加団体一覧

- ・アイセック筑波大学委員会
- ・アイドル研究会Bombs!
- ・インドワークキャンプ団体namaste!
- ・スキングダイビングサークル海洋研究会
- ・学生団体C4
- ・合唱団むくどり
- ・硬式テニス愛好会FOREST
- ・硬式テニスサークルADVANT
- ・硬式テニス同好会
Fancy Tennis Club
- ・Picnic Tennis Team
- ・社会福祉研究会
- ・将棋部
- ・つくば鳥人間の会
- ・つくばラップサークルTRC
- ・筑波大学園芸クラブ
- ・筑波大学広域部WINS
- ・筑波大学混声合唱団
- ・筑波大学地理愛好会
- ・筑波大学電気通信研究会22
- ・筑波能・狂言研究会
- ・筑波大学ブロックフレーテ同好会
- ・筑波マリンダイビングクラブ
- ・筑波大学マジシャンズクラブ
- ・筑波大学「結」プロジェクト
- ・日本マラウイ学生団体
- ・人形劇団NEU
- ・将棋部
- ・ダブルダッチサークルpurplume
- ・バドミントン同好会
- ・舞踏研究会
- ・落語研究会
- ・よさこいサークル斬桐舞
- ・ラジオサークル roots
- ・CLOVER～難民と共に歩むユース団体～
- ・CoMedつくば
- ・STUDY FOR TWO
- ・SF研究会アルビレオ
- ・TMP (つくばミュージックプロジェクト)
- ・VICC 映画を作る会
- ・WorldFutつくば
- ・医学水泳部
- ・アメリカン・フットボール部
- ・男子ラクロス部
- ・女子ラクロス部
- 他30団体 計74団体

新 歓補完計画



オンライン新歓祭

第15回専攻祭

授業直前!!
4/24, 25, 26 12:00～

昼/夜の部
団体74のサークル・部活を
YouTubeから生配信
サークル・部活をインタビュー!
新歓動画や配信からの質問コーナー
最新情報はTwitterをチェック!

QRコード

サークル決めたい。ほな、オンラインちゃうか。

(オンライン新歓祭のパフレット。左側はテレビアニメ『新世紀エヴァンゲリオン』に登場する「人類補完計画」をモチーフにしているそうです。)

オンライン新歓祭は4月24日から26日まで、YouTubeのネット中継で行われました。74のサークル・部が参加し、3日間で12時間にわたって中継されました。主催は学生団体「ドットジェイピー茨城エリアつくば支部」で、200人以上が視聴しました。

コンセプトは「～つくば新歓補完計画～ITF(※)の全員へ送る、サークルを決められない君たちへ」。オンライン会議システム「ZOOM」を利用して、主催者側の司会がインタビュアーとなり、各団体の学生とビデオ通話しながら、その団体の魅力を探ります。さらに、参加した団体は事前に作成した紹介動画や試合・発表会の映像、スライドショーを発表し、活動を通じた楽しさを新入生に伝えていました。また視聴者はYouTubeのコメント機能を利用して、ネット中継に出演している各団体の学生や司会にリアルタイムで質問できるようになっていました。

ネット中継終了後、新歓祭の様子はYouTube上にアップされ、いつでも視聴できるようになっています。再生回数は合計で約1万4000回となっていました(5月26日現在)。

更に、イベントの様子は茨城県域のニュースを伝える NHK 番組「いば6」で紹介されました。



(ニュース番組で新歓祭が紹介された様子。)

ネット中継を視聴した新入生からは、「知らないサークルに興味を持つことができた」、「(司会者らの) フリートークも面白かった」などと好評だったようです。

今回のイベントを企画した工学システム学類3年の金龍泰(きむ・よんて)さんは、「サークル選びは何よりも『人』が大切だと思う。活動内容などはTwitterなどのSNSを見ればある程度確認できるが、各団体に所属する学生の人柄など、新歓でしか味わえないサークルの雰囲気を今年の新入生にも感じてほしかった。新入生に『筑波大生はこんなに面白いんだぞ』っていうのを伝えたかった」と話していました。



（オンライン会議システムを使って取材した際の金龍泰さん。企画を始めた当初には、74 もの団体が集まると思わなかったと驚いたそうです。）

オンライン会議システムを使った新歓はこれだけにとどまりません。人が集まる新歓イベントの自粛が求められる中、筑波大の様々なサークルや部などが、インターネット上での活動紹介や交流会、説明会などに取り組んでいます。筑波大学体育会は5月10日、オンライン新歓を開催しました。体育会に所属する各団体を1分ずつ紹介。その後、新入生は気になった団体のオンライン説明会に参加し、現役部員に質問するなど上級生と交流を深められたようです。

外出自粛要請に伴い、オンライン会議システムを使った授業や飲み会などが急速に広まるなか、オンライン新歓も一般的なものになりつつあります。取材の際、金さんはオンライン新歓の利点として、「気軽さ」を挙げていました。視聴者はどこにいても参加できるし、予定があったら後日にネットに配信されたものを見れば済んでしまいます。参加団体もこれまでの新歓と比べ、ビラ代などの負担を減らせると言います。一度ネット配信すれば、同じようなイベントを何回

も開催しなくて済みます。新型コロナウイルスが収束してもオンライン会議システムは、新歓の重要ツールになることは間違いなさそうです。

最後に、これらの便利なオンライン新歓が、普段の新歓を体験できなかった新入生たちに大学生活の楽しさを少しでも感じてもらえる手助けになればと思います。新入生が筑波大での生活を満喫できる日が、一日も早く来ることを願ってやみません。

今回取り上げた「オンライン新歓祭」はYouTube上にアップされています。以下のURLからご覧になれます。

<https://www.youtube.com/watch?v=dncKe01TzIs>

※ITF…筑波大学のスローガン「IMAGINE THE FUTURE.」の略。筑波大生の間では、大学名の代わりなどとして使われている。

(社会・国際学群 社会学類4年 森賀遼太)

🌸 4 ステイホーム！



新型コロナウイルスの影響で家にこもる日が続きますが、今朝は窓から吹く風に初夏を感じました。緊急事態宣言が発出され、はや1か月。「コロナ疲れ」という言葉があるように、いつもとは違う種類の慢性的なストレスを感じる半面、この生活に慣れつつあると感じます。家にいても書ける記事は何かと考えた結果、今回はシンプルに、自粛期間中の大学院生の過ごし方をご紹介します。

・研究や授業

実験室は、植え継ぎ等どうしても必要な時以外は使用を控えるように言われています。幸い、自分の研究はパソコンを使ってできるものなのでほとんど影響を受けず、家のノートパソコンでリモート作業しています。また、月に数回ある研究室全体のビデオ会議で進捗を報告し合います。実験室を使う人達も、5月以降は「通常の2～3割に抑えての活動なら可」となったらしいです。授業はオンラインで行いますが、春学期に開講する予定のものが秋に移動するなど授業数

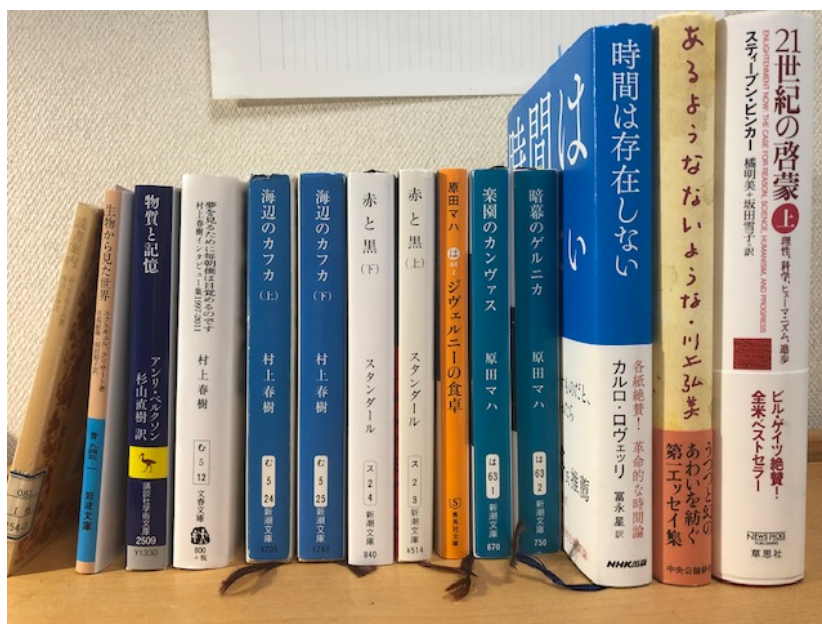
は少なく、週に1つだけ受講しています。ティーチングアシスタント（TA）をするはずだった実験が無くなったのは残念でした。

・就職活動

夏のインターンに備えてはやめに就職活動を始めました。Zoomを使った就活セミナーや大学の就職課が開催するオンライン OB 訪問などに参加しています。企業の方と対面でお話する機会、実際の仕事現場を見る機会が少なくなりそうで不安ですが、できることをやっていこうと思います。

・その他

気分転換には本を読んでいます。忙しくて読む気にならなかった重めの本と腰を据えて向き合えるようになり、充実した時間を過ごしています。また、散歩やヨガなど普段全くやらない運動にも、自粛期間だからという理由で積極的に取り組んでいる気がします。



自粛中に読んだ or 読んでいる本

人と会いたい！遊びたい！研究室に行きたい！という欲求はありますが、普段やらない運動をするようになった、就活に対する危機感が芽生えた、などこの状況をプラスに考えることもできると気が付きました。

大変な状況にある方も大勢いらっしゃる中、手放しに楽観視する

ことはできませんが、一日でも早くコロナが収束することを願いつつ今できることをやっていこうと思います。

(生命地球科学研究群 生物学学位プログラム 博士前期課程 1 年 吉永真理)

5 筑波大学新聞のススメ



・ 自宅で筑波大学に帰ってみませんか

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、読者の皆さんも自宅で過ごす時間が増えているのではないのでしょうか。今回は、STAY HOME中にオススメしたい「自宅で筑波大に帰ったような気分になる方法」をお伝えします。

それは、『筑波大学新聞』を読むこと です！



・ 筑波大学新聞とは

筑波大学新聞は、年 7 回発行される筑波大公式の大学新聞です。1974 年の開学当初から発行されています。

大学の「広報刊行誌」という位置づけですが、企画・取材・執筆・編集のほぼ全てを筑波大生で組織される「筑波大学新聞編集部」が行

っています。筑波大の日々のニュースのみならず、つくば市内のニュースや全国の大学に関する問題も取材しています。

毎号約2万1000部（発行月によって異なります）発行しており、図書館や支援室など学内各所のほか、つくば市役所や市の交流センターなど学外でも配布されています。また、最新号を含めたバックナンバー（2001年4月発行分以降）のPDFがウェブでも閲覧できます（ URL :

<https://www.tsukuba.ac.jp/public/newspaper/shinbunindex.html>）。

また、筑波大が無料配信しているスマートフォン向けアプリ「TSUKUBA FUTURESHIP」でも閲覧可能です（インストール方法は <https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/futureship.app/> をご覧ください）。

・見どころは

筑波大学新聞は12面構成になっています（4月号は16面構成、5月25日発行の第356号

（<https://www.tsukuba.ac.jp/public/newspaper/pdf-pr/356.pdf> でお読みいただけます）は新型コロナウイルス感染拡大の影響で特別紙面となっているため、8面構成です）。ここでは、各面の主な見どころをご紹介します。

▼1面：筑波大学新聞編集部が選びに選んだ重要なニュースが載ります。「天声人語」「編集手帳」「余録」のような1面コラム「筑波おろし」もあります。

▼学内総合面（2面）：筑波大やつくば市に関するニュースが載っています。比較的「硬い」記事が多くなっています。一般の新聞で言う「政治面」のような位置づけです。

▼ミニ特集面（3面）：一つのテーマを取り上げる面です。最近では、「T-ACTで活躍する筑波大生」、「つくばの特産品」、「筑波大学の国際化戦略 Campus-in-Campusを知る」、「全国の筑波大学施設の魅力を探る つくば市外の筑波大学」などが取り上げられました。

▼オピニオン面（4面）：筑波大学新聞記者や大学新聞OB・OGが学内外の時事問題を論説する「記者の声」、筑波大の教員が旬な時事問題を解説・論説する「筑波時評」、筑波大生に街頭インタビューをする「反射鏡」が載っています。

▼学芸面（5面）：サークルや大学が主催する、芸術系のイベントなどを取り上げます。学生俳人が渾身の句を詠む「ぶらり俳句 筑波大」も見どころです。

▼特集面（6・7面）：見開き一面を使い、一つのテーマをとことん

掘り下げます。最近では「筑波大と SDGs」、「箱根駅伝応援特集」、「大学スポーツの未来 ユニバスを知る」、「大学生と薬物乱用」などが取り上げられました。

また、筑波大の注目の研究を分かりやすく解説するコーナー「Hallo! 先端研究」(7面)も見どころです。

▼スポーツ面(8・9面):筑波大生の運動部活動を取り上げます。スポーツの分野で今後活躍が期待される筑波大生を取り上げる「スポーツの顔」(9面)も注目です。

▼学生生活面(10・11面):学内総合面と同じく、筑波大やつくば市に関するニュースが載っていますが、比較的「軟らかい」記事が多いです。筑波大生に関係する問題を取り上げることもあります。一般の新聞の「社会面」のような位置づけです。

▼トピックス面(12面):活躍する筑波大生を取り上げるコーナー「Who's Who?」などがあります。

また、他大学の大学新聞にはない大きな特徴として、警察署と市役所へ取材していることが挙げられます。筑波大学新聞には警察担当の記者と市役所担当の記者がおり、つくば市内での自動車盗難が相次いでいることや、つくば駅前の商業施設「クレオ」の移転問題などの記事も掲載されています。

筑波大学新聞編集長の西村大祐さん(人文学類3年)は「筑波大学新聞はもちろん『大学新聞』の側面もありますが、つくば市の話題も取り上げているという意味で『地域紙』の役割を担っているとも言えます。今後も学内だけにとどまらず、地域のニュースも積極的に取り上げていきたいです。また、現在は、コロナ禍において学生が知りたい情報を求めて、在宅で取材や編集作業を進めています」と話していました。

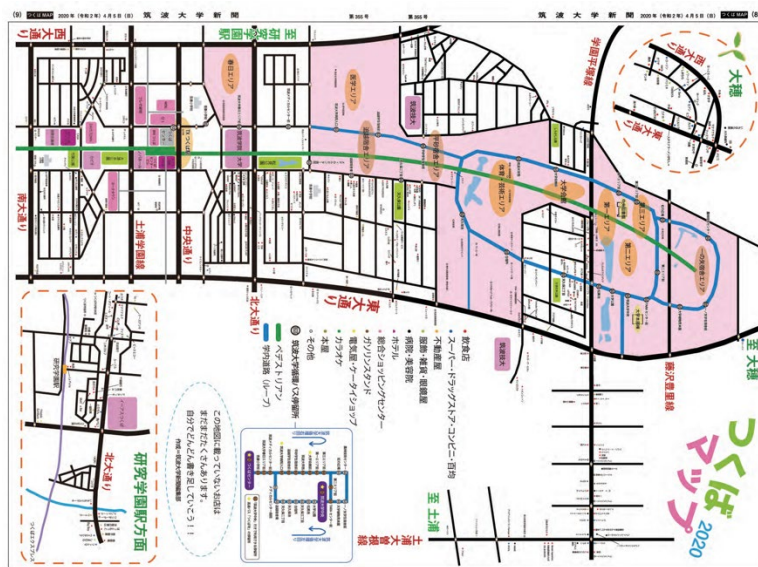
更に、筑波大学新聞は社会的な評価も受けています。「2019年第9回大学新聞コンテスト」(主催・関東学生新聞連盟、特別後援・朝日新聞社ほか)では最優秀賞の「朝日新聞社賞」と「記事賞」、「連載賞」を獲得しました(詳しくは、<http://www.tsukuba.ac.jp/news/n201912231000.html>をご覧ください)。

・おわりに

筑波大やつくば市のニュースが満載の筑波大学新聞。読むだけで、筑波大の日々の動きや学生の顔が見えてくる新聞だと思います。STAY HOME のひとときに、筑波大学新聞で「つくばっく(※)」し

てみてはいかがでしょうか。

また、このコロナ禍で、筑波大周辺の飲食店などは大きな打撃を受けています。筑波大学新聞第 355 号（4 月 5 日発行）には、筑波大周辺の飲食店や雑貨店などの各種店舗をまとめた「つくばマップ 2020」が掲載されています。新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着きましたら、筑波大学新聞を片手にぜひつくばを訪れてください。



（つくばマップ 2020。

<https://www.tsukuba.ac.jp/public/newspaper/pdf-pr/355.pdf>
でご覧いただけます）

※つくばっく・・・筑波大生の間では、つくばに帰ることを「つくばっく」と呼ぶことがあります。

（人文・文化学群 人文学類 4 年 木村誠）

編集後記

はじめに、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、日々ご尽力されている医療従事者のみなさまに感謝申し上げます。

ここまでお読みいただきありがとうございました。今年度の編集長を務めます、吉永です。

新型コロナウイルスの感染拡大により前例のない春となりました。長引いた自粛の打撃に加え、第二波の不安。誰にとっても厳しい状況なのは間違いありません。所属していた管弦楽団では春合宿や演奏会が中止になりました。長い期間準備してきた後輩を思うとやり切れない気持ちになります。

そんな中「オンライン新歓」や運動部による動画配信など、前向きな学生の姿をとらえた記事が集まりました。気軽さ、コスト削減などオンラインには今までにない長所があるようです。ピンチをチャンスに変える力があるか、一人一人がそれを問われている気がしました。VUCA 時代とも言われる不安定な世界で、懐かしさは安心、挑戦は希望につながります。これから、つくばの変わらない姿や新たな試みをこのペデジャーなるでお届けできればと思います。

(生命地球科学研究群 生物学学位プログラム 博士前期課程 1 年 吉永真理)



○「学生のための緊急支援金」へのご協力をお願いします。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、4月7日には一部の都府県に緊急事態宣言が発令され、4月16日には対象地域が全国に拡大され、5月4日には宣言の有効期限がさらに約1ヶ月延長され、5月25日には全国で宣言が解除されましたが、様々な業種で自粛が続いています。

大学として、今、守るべきは学生たちです。

「実家の家計の急速な悪化」、「各業種の休業に伴う学生自身の収入の崩壊」、一方で「オンライン授業対応などへの出費」などが原因

で、生活の質が極端に劣化してきています。感染が確実に終息方向に向かうまでは、大学として学生たちの学修基盤である生活を支えることが最重要課題であると認識しています。

このことに鑑みて、この度「学生経済支援パッケージ」を準備いたしました。詳細については、以下の URL をご覧ください。そして、窮状をご理解いただき、精一杯のご協力をお願い申し上げます。

▽▼学生のための緊急支援金▼▽

<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/covid19/>

▽▼クラウドファンディング「学生経済支援パッケージ」▼▽

https://readyfor.jp/projects/Tsukuba_futureship_covid-19

参考：本学の学生の窮状について報道されました

https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000184932.html

○筑波大学カード キャンペーン実施中

筑波大学公式クレジットカード「筑波大学カード」新規入会者募集中です！

今なら新規お申込みの方に 1000 円のプレゼントキャンペーンを実施しています。



インターネットからもお申込みいただけますので卒業生の皆様もぜひご利用ください！

《筑波大学カードをご利用の場合》

- ・利用金額の一部が筑波大学基金へ寄附
- ・サービス協力店舗での優待利用可能

詳しくは、<https://alumni.tsukuba.ac.jp/cashcard.html> をご覧ください。

○筑波大学オリジナルボルドーワインのご案内

本学とボルドー大学の連携協定を記念して、ボルドー大学の提携研究機関であるフランス国立農業研究所（INRA）で醸造された「シャトー・クーアン」の特別ボトルを作成・販売しています。



カスミ筑波大学店、プルシェキュート店でお買い求めいただけます。
カクヤスネットショッピングでもお買い求めいただけますので、
こちら https://www.kakuyasu.co.jp/store/?bid=lgpc_index をご覧ください。

- ✿筑波大学 公式ホームページ: <http://www.tsukuba.ac.jp/>
- ✿筑波大学 facebook : <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>
- ✿筑波大学 Futureship facebook :
<https://www.facebook.com/univ.tsukuba.futureship>
- ✿筑波大学交流広場「KUTTUK ba」: <https://alumni.tsukuba.ac.jp/>
(筑波大学交流広場／筑波大学生涯メールアドレス 利用登録募集中！)
- ✿筑波大学アプリ「TSUKUBA FUTURESHP」:
<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/futureship.app/>

- 編集・発行：「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ
- デザイン・配信作業：国立大学法人筑波大学事業開発推進室
- ご意見・問い合わせ先：国立大学法人筑波大学事業開発推進室
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1
TEL:029-853-2030 FAX:029-853-6576

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

© 2020 University of Tsukuba.